

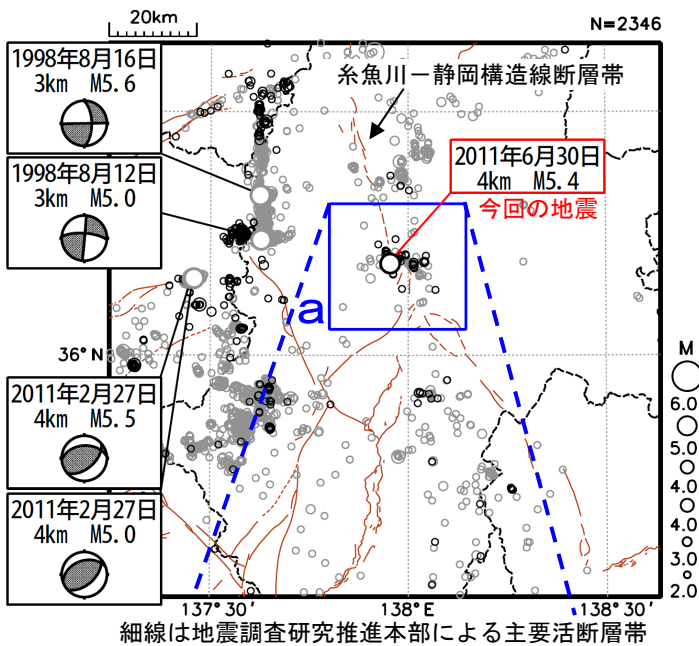
6月30日 長野県中部の地震

2011年6月30日08時16分に長野県中部の深さ4kmでM5.4の地震（最大震度5強）が発生し、重傷2人、軽傷13人、住家半壊3棟などの被害を生じた（被害は2011年7月4日現在、総務省消防庁による）。この地震は地殻内で発生しており、発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震の発生後、同日08時21分のM5.1の地震（最大震度4）、14時11分のM3.4の地震（最大震度4）など、7月5日までに震度1以上を観測する余震が28回発生している。

この地震の震源付近（領域a）では、6月29日からM2.0以上の地震活動が見られており、6月29日19時32分には深さ4kmでM3.4の地震（最大震度3）、同日20時04分には深さ5kmでM2.8の地震（最大震度3）が発生していた。

1997年10月以降の活動を見ると、領域aではしばしばM3.0程度の地震が発生していたが、M5.0を超える地震はこれまで発生していなかった。

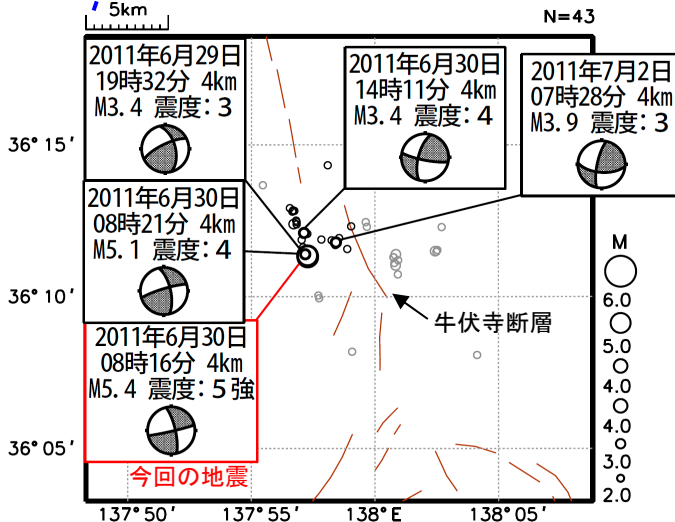
震央分布図（1997年10月1日～2011年7月6日、
深さ0～20km、M≥2.0）
2011年3月以降の地震を濃く表示



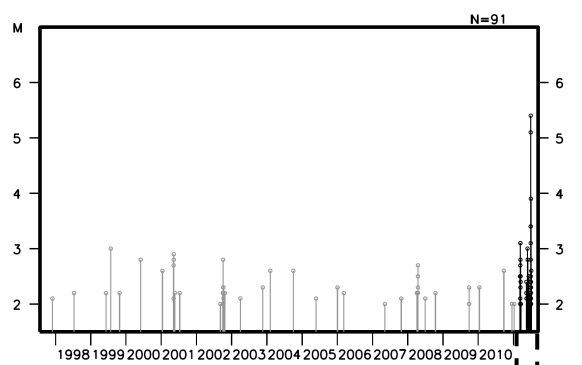
領域a内の拡大図

(2011年3月1日～7月6日)

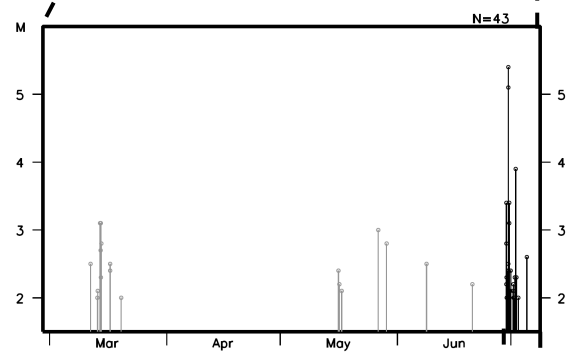
2011年6月29日以降の地震を濃く表示



領域a内の地震活動経過図及び回数積算図



(2011年3月1日～7月6日)



(2011年6月29日～7月6日)

